

～ 令和8年(2026年)は一揆勃発から300年～

第7回山中一揆歴史講座を開催します

日時▶ 令和8年5月23日(土) 午後1時30分～午後3時

場所▶ 湯原ふれあいセンター(真庭市豊栄1515番地)

令和8年(2026年)は山中一揆が勃発した享保11年(1726年)から300年の節目の年です。

山中一揆義民顕彰会では、この歴史を風化させず次の世代に引き継ぐことを目的に、昨年3月から今年の夏にかけて多彩な講師による全8回の歴史講座を開催しています。これまで6回開催しておりますが、合計821人、平均139人と、そして市外の方が約4割と大変好評いただいております。

第7回は、蒜山郷土博物館 館長 前原 茂雄さんを講師に迎え「一揆残影 --その後の社会と人々」と題した講座を開催します。

つきましては、ぜひとも周知にご協力いただきますとともに、当日も取材いただきますようお願いいたします。

歴史講座▶

1.日 時 令和8年5月23日(土) 午後1時30分～午後3時(受付 正午～)

2.場 所 湯原ふれあいセンター(真庭市豊栄1515番地)

3.講 師 蒜山郷土博物館 館長 前原 茂雄さん

4.講座概要 山中一揆は、その後の地域社会にどのような影響を与えたのだろうか。じつは第二・第三の山中一揆も生じていた。一揆を繰り返す山中地域特有の事情とは何か。新資料も提示しつつ、農民生活や自然環境の実態に迫る。

(講師プロフィール)

歴史学者。九州大学大学院博士課程単位取得退学。九州大学学術研究員を経て、2014年より蒜山郷土博物館館長に就任。2021年からは蒜山ミュージアム館長も兼務。鳥取短期大学非常勤講師。専門は日本中世の庄園・村落史。地域に残る古文書の解読や現地での聞き取り調査などを通じて、庶民生活史の実像解明に取り組んでいる。また、調査や研究の成果をもとに、戦争史や民衆の暮らし、地域文化論などをテーマに執筆や全国各地での講演活動を行い、幅広い層にわかりやすく歴史を伝えている。

5.申込方法 真庭市湯原振興局(0867-62-2011)に電話で申し込み。または、真庭市ホームページ「山中一揆歴史講座(全8回)」(<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/60/96814.html>)内の専用申込フォームから申し込み。

6.申込期限 令和8年5月18日(月)

7.参加費 無料



◀ 写真：田部堂での義民供養(蒜山西茅部)

お問い合わせ先▶

山中一揆義民顕彰会 会長 浜子尊行
TEL090-4653-0521

発信元▶

湯原振興局地域振興課(担当 升本)
TEL0867-62-2011 FAX0867-62-2097
chiiki_yb@city.maniwa.lg.jp

山中一揆 300年

令和7年度

3月8日(日) 午後1時30分～
第6回「山中一揆を伝えたもの」

～記録と顕彰～ (横山先生最終講座)

講師 横山 定氏 山中一揆研究者 真庭市(旧美甘村)出身

山中一揆終結後、多くの記録・物語、そして供養塔・顕彰碑などが作られました。これらを紹介しながら、山中一揆を伝えようとした人々の想いの一端を見ていきたい。



徳右衛門御崎(仲間)



首無し地蔵(釘貫小川)

【助成】



公益財団法人
福武教育文化振興財団

令和8年度

5月23日(土) 午後1時30分～
第7回「一揆残影」

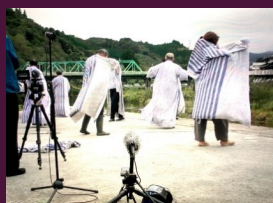
—その後の社会と人々—

講師 前原茂雄氏 蒜山郷土博物館 館長

山中一揆は、その後の地域社会にどのような影響を与えたのだろうか。じつは第二・第三の山中一揆も生じていた。一揆を繰り返す山中地域特有の事情とは何か。新資料も提示しつつ、農民生活や自然環境の実態に迫る。



田部義民供養祭
(蒜山西茅部)



劇団「山中一揆」(場面)
土居中河原廻り地蔵村(米津)

8月2日(日) 午後1時30分～
第8回「山中一揆を表現すること」

講師 山崎樹一郎氏 映画『新しき民』監督

山中一揆は古くから様々な表現され語られてきた。その語りからまた表現が生まれ、それを繰り返し、今に語り継がれている。この度、一表現者として考えてきたこととこれからの山中一揆について「祭り」と「演劇」をキーワードに考えてみたい。

全会場:湯原ふれあいセンター
岡山県真庭市豊栄1515

歴史講座

【参加費・無料】

一氣に解る!

いつきに・わかるさんちゅう・いつき

山中一揆



申込み(電話・ネットとも可)

真庭市湯原振興局

(0867)62-2011

詳しくは真庭市ホームページをご覧ください。



【主催】 山中一揆義民顕彰会

【共催】 真庭市・真庭市教育委員会